

万華鏡

甲府商業高校 図書室
令和6年9月
NO. 4

厳しい残暑が続きそうですが、その中でも少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。

秋は様々な形で私達の生活に実りを与えてくれます。

「芸術の秋」、「スポーツの秋」、そして「読書の秋」等と・・・

図書室には、そくそくと新着図書が入っています。

秋の夜長にぜひ読書を楽しんでほしいと思います。



新着本紹介



『地雷グリコ』

青崎有吾／著 角川書店

書籍紹介：射守矢真兎（いもりや まと）。女子高生。勝負事にやたらと強い。平穩を望む彼女が日常の中で巻き込まれる、風変りなゲームの数々。次々と強者を打ち破る真兎の、勝負の先に待ち受けるものとは……。

ミステリー界の旗手が仕掛ける本格頭脳バトル小説。

『中高生のスポーツハローワーク』

中高校生のスポーツハローワーク編集部／著 Gakken

書籍紹介：スポーツ業界の仕事と職種がわかる！ 見つかる！

実際にスポーツやアスリートを支える“スポーツにかかわる仕事”をしている先輩たちのお話を中心に、どんな職種があって、それがどんな仕事なのか、どういう進路を選べばその仕事ができるのか、といったことを伝える「スポーツを仕事にしたい中高生」のための本。

『バッタを倒すぜアフリカで』

前野ウルド浩太郎／著 光文社

書籍紹介：読みたいけど虫の写真が苦手な方に朗報！ バッタ画像をカットした特別版。

本書でしか読めないまえがき付き。／自分の婚活よりバッタの婚活!? 13年間、世界中を飛び回り、重ねてきたフィールドワークと実験は、食糧危機の原因となるバッタの大発生を防ぐ可能性を持っていた！ 新書大賞受賞、25万部突破の『バッタを倒しにアフリカへ』刊行から7年、画期的な研究内容がついにベールを脱ぐ。

『バリ山行』

松永 K 三蔵／著 講談社

書籍紹介：第171回芥川賞受賞作

古くなった建外装修繕を専門とする新田テック建装に、内装リフォーム会社から転職して2年。会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。その後、社内登山グループは正式な登山部となり、波多も親睦を図る目的の気楽な活動をするようになっていたが、職人気質で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿があえて登山路を外れる難易度の高い登山「バリ山行」をしていることを知ると……。

『サンショウウオの四十九日』

朝比奈秋／著 新潮社

書籍紹介：第171回芥川賞受賞作

周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？ そして今これを考えているのは誰なのか——三島賞受賞作『植物少女』の衝撃再び。最も注目される作家が医師としての経験と驚異の想像力で人生の普遍を描く、世界が初めて出会う物語。

『ツミデミック』

一穂ミチ／著 光文社

書籍紹介：第171回直木賞受賞作

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、バイト中に話しかけてきた大阪弁の女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗ったが——「違う羽の鳥」失業中で家に籠もりがちな恭一。ある日小一の息子・隼が遊びから帰ってくると、聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣の一軒家に住む老人にもらったというそれをたばこ代に使ってしまった恭一だが——鮮烈なる“犯罪”小説全6話。

- ★『死の貝』 小林照幸／著 新潮社
- ★『透き通った風が吹いて』 あさのあつこ／著 文藝春秋
- ★『青春サプリ。』 青木美帆 他／著 ポプラ社
- ★『もう一度、泳ぐ。』 池江璃花子／著 文藝春秋
- ★『クスノキの女神』 東野圭吾／著 実業之日本社
- ★『梅と水仙』 植松三十里／著 PHP 研究所
- ★『不可能を可能にする大谷翔平 120の思考』 大谷翔平／著 ぴあ
- ★『カンタン！ 齋藤孝の最高の読書感想文』 齋藤孝／著 KADOKAWA
- ★『「何回説明しても伝わらない」はなぜ起こるの』 今井つみ／著 日経 BP
- ★『ずっとずっと、キミとあの夏をおぼえている』 朝比奈希夜／著 スターツ出版
- ★『何を書けばいいかわからない人のための小論文のオキテ 55』 鈴木鋭智／著 KADOKAWA など…



やま読ラリースタンプカード配布！

図書室で本を借りたり、県内書店で1,000円以上本を買って

スタンプを4つ集めると、甲州印伝のオリジナルしおりがもらえる、

やま読ラリーを実施中！

図書室の本を借りた人にスタンプカードを差し上げています。

